

令和6年度（第63回）農林水産祭むらづくり部門受賞団体の概要

【農林水産大臣賞受賞団体（代表者）】

- えーひだカンパニー株式会社 かぶしがいしゃ 〔島根県安来市広瀬町〕 しまねけん やすぎしひろせちょう（代表取締役 かわかみ よしのり 川上 義則）

（1）むらづくりの背景・動機

比田地区は安来市の最南部、安来の中心地からは35キロ離れた標高300～450mほどの盆地に集落が位置している。

当地区では、人口減少、高齢化の進行により地域の存続すら危ぶまれる中、地域の若手や地域おこし協力隊員を中心としたプロジェクトチームを立ち上げ、多くの住民とともに約1年をかけて、比田の将来図を描いた10年計画の比田地域ビジョンを平成28年3月に策定した。

同年8月には、この地域ビジョンの実現に向けた地域運営組織として「えーひだカンパニー」を立ち上げ、翌年3月には株式会社化し、産業、生活環境、魅力向上、定住促進など多岐にわたる分野で取り組みを進めている。

（2）むらづくりの内容

① 生産面における取組状況

高齢化等で作付け困難となったほ場を中心に直営の営農部門が水稻、小麦等を作付けすることで農用地の維持・活用に貢献するとともに、水稻育苗やドローン防除などの作業受託事業、中山間直接支払制度の集落協定への参画、統合・広域化等により、個別農家の営農を支える役割を担っている。

安来節で有名などじょうも近年生産が減少しており、排水不良の水田を活用したどじょう養殖にも取り組んでいる。

地域の農産物を活用した多彩な商品開発、カフェを併設した直売所「え～ひだ市場」を運営するとともに、地域おこし協力隊や特定地域づくり事業協同組合といった制度を活用した担い手確保にも貢献している。

② 生活改善の取組状況

少子化が進む中、地域の事業者の協力による「地域から出産おめでとう祝い」事業、小学校と連携した「え～ひだ Kids 支援」などにより将来の比田を担う人材育成を図っている。

アンケートで多かった通勤・通学・通院・買い物の不便さ解消の地域ビジョン実現のため、「生活環境部」が「えーひだ交通運営協議会」が運営するデマンド交通の運行を支援している。

買い物環境の悪化による、高齢者の買い物支援、見守り活動を兼ねた移動販売車「ひだまり号」の運行から地域の温泉施設の運営まで、生活基盤・交流の場の確保など幅広い活動を展開している。